

◦ CVEセキュリティ情報

CVE No.	CVE-2022-1012
参照脆弱性データベース	https://nvd.nist.gov/vuln/detail/CVE-2022-1012
公開日	2023年3月2日
内容説明	net/ipv4/tcp.c のTCPソースポート生成アルゴリズムには、メモリリークが発生する問題が見つかりました。この欠陥により、攻撃者は情報を漏えいさせることがあり、またDoS問題を引き起こす可能性があります。
対象ベンダー	Microchip Frequency and Time Systems
対象製品	SyncServer S600/S650
対象製品の影響度	影響度は「低」です。SyncServer Web GUI の暗号化されたTLSにより、この脆弱性による情報漏えいのリスクが軽減化されます。DoS攻撃に対しては、マネージメントポートへの外部アクセスを制御するか、使用していない時はWeb GUI機能を無効にすることで防止できます。

◦ 推奨される対応方法

SyncServerS650/S600では、このCVEに対する対応は必要ありません。

SyncServerS650/S600は、ファイアウォールの保護下で運用されるように設計されています。また、マネージメントインターフェースは権限のないユーザーのアクセスから保護されています。

NTPに関連する脆弱性の多くは、スプーフィング攻撃によるものがほとんどです。GPSのような内部参照を持つStratum 1で動作するサーバーの場合、これらのスプーフィング関連のNTP脆弱性は該当しません。

クライアントやピアリングポートには、IETF BCP38 (インGRESS フィルタリング) に準拠することが推奨されます。これによりほとんどのスプーフィング攻撃を防ぐことが可能となります。

◦ お問い合わせ

FWのバージョンアップする場合は、Microchip社ソフトウェア契約の加入が必要になります。

弊社のSyncServer年間保守契約にご加入いただいている機器に関しては、弊社経由にてMicrochip社ソフトウェア契約を加入いただいておりますので、最新バージョンのファームウェアを弊社より、提供させていただきます。

また、バージョンアップの手順についてご不明な点がございましたらご気軽にお問い合わせください。

この書面に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

会社	株式会社フォーサイトテクノ
部署	事業本部 サービス3部 ICT機器課
担当窓口	SyncServer技術担当
電話番号	☎ 03-5665-9290
メールアドレス	✉ symm-support@foresight-t.co.jp